

## 令和5年度 学校教育自己診断アンケートの結果と今後に向けて

### 1、回収率

	令和5年度	令和4年度	令和3年度
児童生徒(%)	61/268(23%)	81/273(30%)	143/272(53%)
保護者(%)	143/262(55%)	158/268(59%)	220/267(75%)
教職員(%)	114/114(100%)	107/123(87%)	126/129(98%)

### 2、集計結果について

回答欄の「そう思う」「だいたいそう思う」の合計を肯定的評価、「あまりそう思わない」「そう思わない」の合計を否定的評価として捉えました。

肯定的評価は70%以上を達成のための基準とし、否定的評価は30%以上を課題として捉えています。

(肯定的評価70%以上、否定的評価30%以上の項目に網掛けをつけています。)

#### (1) 児童生徒アンケート

		はい	いいえ	わからない
1	学校へ行くのは楽しいですか。	87.3%	1.4%	11.3%
2	先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。	53.5%	6.7%	38.5%
3	先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。	83.7%	3.6%	12.7%
4	先生は、マナーやルールなど、勉強以外のことも教えてくださいか。	87.5%	0.0%	12.5%
5	学校の給食はおいしいですか。	88.7%	0.0%	11.3%
6	先生は、あなたががんばったことをほめてくれますか。	90.0%	0.0%	10.0%
7	先生はパソコンや iPad を使って勉強を分かりやすく教えてくださいか。	81.7%	1.4%	16.9%

(2) 保護者アンケート		肯定的	否定的	わからない
1	子どもは、学校へ行くのを楽しみにしている。	92.0%	6.6%	3.6%
2	教職員は、子どもの実態・課題にあった授業を行っている。	92.0%	3.6%	5.6%
3	教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育（進級、進学、就労等）を行っている。	84.0%	1.4%	15.0%
4	教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	64.6%	0.0%	35.4%
5	教職員は、子どもの発達段階や実態に応じて生命を大切にする心や社会ルールを守る態度の育成に努めている。	91.4%	1.4%	7.7%
6	教職員は、子どもの様子や必要な事項を懇談会や授業参観、連絡帳、便りなどによって発信している。	98.4%	1.6%	0.5%
7	教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。	94.6%	0.5%	5.0%
8	教職員は、授業参観や学校行事に保護者が参加しやすいように工夫している。	94.2%	3.9%	3.2%
9	教職員は、子どもの障がいについて理解している。	93.6%	3.0%	4.4%
10	教職員は、子どもたちの学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	96.3%	1.0%	3.0%
11	教職員は、パソコン、大型テレビ、iPadなどのICT機器を効果的に活用している。	84.4%	2.1%	14.1%
12	教職員は、防災対策、防災教育を適切に行っている。	79.1%	0.0%	20.9%
13	教職員は、子どもの個人情報の取り扱いに配慮している。	89.8%	0.0%	10.2%
14	教職員は、個別の教育支援計画について、本人・保護者のニーズを踏まえて作成している。	97.0%	2.2%	1.6%
15	教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。	93.5%	2.2%	5.0%
16	子どもは、学校の給食を楽しみにしている。	89.9%	5.5%	6.5%

(3)教職員アンケート		肯定的	否定的	わからない
1	教職員は、教育活動について、教職員間で日常的に話し合っている。	95.6%	0.9%	3.5%
2	教職員は、教育活動全般にわたる評価を行い、次年度の計画に活かしている。	85.1%	8.8%	6.1%
3	教職員は、命の大切さや社会のルールを守る態度の育成をめざした生活指導をしている。	95.6%	0.9%	3.5%
4	教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	84.2%	9.6%	6.1%
5	教職員は、児童・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰、不適切な指導を見逃さない体制を整えている。	93.0%	1.8%	5.3%
6	教職員は、児童・生徒や保護者が悩みや疑問を気軽に相談できる体制を整えている。	95.6%	1.8%	2.6%
7	教職員は、学校行事が児童・生徒にとって魅力あるものとなるよう、工夫・改善を行っている。	95.6%	2.6%	1.8%
8	教職員は、児童・生徒の学校での様子を、連絡帳や便り、HP などを通して積極的に伝えている。	96.5%	0.9%	2.6%
9	教職員は、児童・生徒の実態・課題にあった授業を行っている。	94.7%	0.9%	4.4%
10	教職員は、保護者が授業参観や学校行事に参加しやすいように配慮している。	92.1%	3.5%	4.4%
11	教職員は、児童・生徒の学習環境として校内の施設・設備を適切に整えている。	86.0%	9.6%	4.4%
12	教職員は、個別の教育支援計画や個別の指導計画を日々の指導に活かしている。	93.9%	3.5%	2.6%
13	教職員は、防災対策、防犯対策を適切に行っている。	96.5%	1.8%	1.8%
14	教職員は、学年会、部会、分掌などの各種会議を、意見交換や合意形成の場として有効に機能させている。	91.2%	3.5%	5.3%
15	教職員は、食育に関する指導を工夫し、児童・生徒の興味・関心を広げている。	85.1%	7.0%	7.9%
16	校長は、自らの教育理念や学校運営の考えを明らかにし、リーダーシップを発揮している。	78.1%	13.2%	8.8%
17	学校納付金の使い道を概ね理解できている。	86.0%	7.0%	7.0%
18	行事の計画について、事務職員と教員の連携が取れている。	82.5%	4.4%	13.2%
19	児童・生徒の健康状態について、保健室と教員で共有できている。	96.5%	0.0%	3.5%

3、自由記述「学校をより良くするためのご意見・ご感想等がありましたらご記入ください。」

回答 保護者 24件(小 9 件、中 8 件、高 7 件) 教職員 9件 合計 33件

・保護者の自由記述には、教職員への感謝やお心遣いの言葉を多く頂きました。また、参観日の設定、保護者と学校との情報共有の方法、教職員の障がい理解、人的・物理的環境の改善、ICT 活用の促進についての記述もありました。

・教職員の記述には、業務過多への対応、働き方改革、人員配置についての記述がありました。

4、肯定的評価が70%に達しなかった項目（2項目）

(1) 児童生徒アンケート2「先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。」

(2) 保護者アンケート4「教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。」

5.改善策の検討と今後に向けて

(1) 児童生徒アンケート

①傾向

・児童生徒アンケート(今年度1項目を追加し、計7項目)

・70パーセント以上の肯定的評価基準に達したものは、7項目中6項目。

・30パーセント以上の否定的な評価は、7項目中0項目。

・6項目中5項目で「わからない」の選択が増加(昨年度比:1.3%~9.3%の上昇)

②肯定的評価が70%に達しなかった項目（1項目）

		はい	いいえ	わからない
2	先生は、あなたが大きくなった時のことや仕事について教えてくださいか。	53.5%	6.7%	38.5%
・小学部から高等部へと学部が上がるにつれて良化傾向にある。		小学部 25.0%	4.2%	66.7%
		中学部 63.2%	15.8%	21.1%
		高等部 72.2%	0.0%	27.8%

③関連するアンケート項目

保護者アンケート		肯定的	否定的	わからない
3	教職員は、それぞれの学部、学年の実態に合わせて適切なキャリア教育(進級、進学、就労等)を行っている	84.0%	1.4%	15.0%
7	教職員は、施設・作業所や企業、進路の手引きや説明会などの情報を提供している。	94.6%	0.5%	5.0%

教職員アンケート

4	教職員は、進級、進学、就労等について、児童・生徒が興味・関心、適性に応じた進路選択ができるよう指導を行っている。	84.2%	9.6%	6.1%
---	--	-------	------	------

#### ④今後に向けてのアイデア

現在行っている学習の継続と新たな取り組みを行う。質問をイメージしやすい文言にする。

##### 1) 学習内容

###### 中学部

- ・授業で、仕事についての内容を取り入れる。
- ・社理の A、B、C グループの授業で行っている。(継続)
- ・道徳の中で、「人権」や「キャリア教育」として取り組む。
- ・道徳で年1回取り組む。
- ・先輩に来てもらい、話などを聞く機会を設ける。(高等部職業コース)
- ・進路特別学習(高等部が行っているもの)中3だけでなく、1,2年も見てもよいかも。

###### 高等部

- ・進路特別活動、卒業生の進路先での様子の動画を見る など

##### 2) 質問の文言変更

###### 小学部

- ・多くの児童にとって「大きくなった時」という表現が抽象的でイメージしにくい。「わからない」を減らすために、質問の文言を理解しやすくする工夫が必要と思われる。
- ・「先生はあなたが〇年生になった時や、〇学部に行った時のことを教えてくださいか」に変更する。

###### 高等部

- ・質問と実際の進路指導が結びつかない。
- ・高等部ではやっているの具体的な内容を例示する。

#### (2) 保護者アンケート

##### ①傾向

- ・70パーセント以上の肯定的評価基準に達したものは、16項目中15項目。
- ・30パーセント以上の否定的な評価は、16項目中0項目。
- ・昨年度比:16項目中10項目で肯定的評価が上昇(1%~7%)

##### ②達肯定的評価が70%に達しなかった項目(1項目)

保護者アンケート		肯定的	否定的	わからない
4	教職員は、いじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる。	64.6%	0.0%	35.4%

※1 学期実施の「いじめに関するアンケート」では、本校として認知したいじめ事案:1件。

##### ③関連するアンケート項目

保護者アンケート		肯定的	否定的	わからない
15	教職員は、子どもに関する保護者の悩みや相談に適切に応じている。	93.5%	2.2%	5.0%

##### 児童生徒アンケート

3	先生は、あなたが困ったときに話を聞いてくれますか。	83.7%	3.6%	12.7%
---	---------------------------	-------	------	-------

## 教職員アンケート

5	教職員は、児童・生徒の人権を尊重し、いじめや体罰、不適切な指導を見逃さない体制を整えている。	93.0%	1.8%	5.3%
6	教職員は、児童・生徒や保護者が悩みや疑問を気軽に相談できる体制を整えている。	95.6%	1.8%	2.6%

### ④今後に向けてのアイデア

いじめを実感する場面がないので、回答として「わからない」が多くなると考えられる。

実際の場面を想定して回答ができるように、文言の変更をして実施するとともに、予防的な手立てを継続する。

#### 1) 質問の文言変更

##### 小学部

・「教職員は子どもが困っていること（いじめ含む）や嫌なことがあれば、真剣に対応している。」

##### 中学部

・「教職員は子ども同士のいじめについて真剣に対応している。」にしてはどうか。

##### 高等部

・いじめのない状態では書きにくいので、「教職員は嫌なこと、困ったことがあったときに～」のように変える。

・いじめを経験してない子も方が多いので、「いじめなど～」のようになどをつける。

・いじめにあっているかもしれないという事案が子供になれば、答えられない質問であり、「はい」を選ばないので、仕方ない。

#### 2) 予防的手立て

##### 小学部

・いじめが起こらない環境づくりや指導、保護者との連携を今後も行っていく。

##### 中学部

・いじめ対策委員会が、保護者に見える形で返答していくのがいいのでは。

・時間をとることが難しいかも知れないが、教員と生徒が1対1で話せる機会をつくる。（悩みがある生徒だけでなく）

・個別懇談（担任と生徒）を行う。（いじめに関するだけでなく、将来のことなどを含めて話してもよい。）